

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立沼田東小学校	校長氏名	新庄 直子	生徒指導主事氏名	前花 真吾
-----	------------	------	-------	----------	-------

**取組事例名 『スモールステップの目標づくり』**

**取組のねらい 『別室登校から、所属学級参加へ』**

別室に登校できるようにし、次に落ち着いた学校生活が送れるようにし、さらに所属学級への参加授業を増やす。目の前の行事で学級に参加できるよう一つ一つ課題を克服していく。

**取組の具体的内容 『一つの活動に全力参加』**

別室に登校できるようにし、次に落ち着いた学校生活が送れるようにし、さらに所属学級への参加授業を増やす。目の前の活動で所属学級に参加できるよう一つ一つ課題を克服していく。(遠足→運動会→修学旅行→音楽発表会→持久走大会→卒業式) 一つの活動に全力参加、その繰り返しを行う。

(○遠足へ参加できた。→○運動会の組体操の練習に徐々に参加した。→○運動会へ参加できた。→○修学旅行の事前の話し合いに参加できた。→○修学旅行へ参加できた。→○音楽発表会の練習に参加できた。→○音楽発表会へ参加できた。→○持久走大会の練習に参加できた。→○持久走大会で完走することができた。)

一つの成功体験が次の活動意欲へとつながるよう取り組んできた。

**運動会**



## 音楽発表会



## 持久走大会



### 取組の課題・創意工夫『多くの教師の声掛けと専門機関との連携で』

一つ一つの活動でできるだけ多くの教師の声掛けをしていく。(タイミングよく。)

(〇励まし「よし、やってみよう。行こう。参加しよう。がんばれ。できるよ。さあ、次は、これだ。」)

〇賞賛、あたりまえのことを認める「すごい。良かったよ。良くやったー。頑張ったね。良くできた。よく来ました。できたね。良く聞いていました。書いたね。言えたね。)

専門機関との連携を継続し、教職員の話し合いを通してベクトルをそろえ、一つ一つの活動へ6年A君、B君、C君が参加できるよう取り組んでいった。

### 取組の成果(効果)『徐々に落ち着きを取り戻す』

一つ一つの活動での小さな成功体験を積み重ね、最終的に、荒れた行動から落ち着いた行動への変化を遂げさせることができた。

### 今後の展開『卒業式に向けて』

さらに落ち着いたあたり前の行動・活動ができるよう専門機関と連携し、教職員の話し合いを基にした取組を継続していく。最終目標は卒業式参加である。

### 他校へのアドバイス『キーワードできることからこつこつと』

6年3名が落ち着きを取り戻していったのは、やはり、教職員集団が協力し、ベクトルを常に微調整しながら、気長にあせらず、できることからこつこつと取り組んでいった為だと思われます。